

サンクチュアリセンターニュース

ガンの飛び立ち

清々しい空気の中、日の出とともにガンが一齐に飛び立つ姿は自然の雄大さを感じさせてくれます。

vol.90

平成29年12月号

自然再生協議会全国会議が開催されました。

11月1～2日に環境省主催の自然再生協議会全国会議が伊豆沼・内沼で開催されました。全国各地で生物多様性復元などを目標とした自然再生事業に取り組む関係者80名が参加しました。北は北海道、南は沖縄まで、全国で活躍する方々がサンクチュアリセンターを訪れました。沼の自然や保全、ロボットなどを活用した最新の生態系モニタリングシステムの開発についての講演の後、水生植物園などで現地視察を行いました。また、マガンのねぐら入り、朝の飛び立ちなどこの時期ならではの沼の自然を堪能いただきました。このような全国会議が伊豆沼で開催されるのは初めてで、全国に伊豆沼・内沼をアピールするよい機会となりました。



研究員の講演や伊豆沼で取り組んでいる保全活動の紹介を行いました。また、マガンのねぐら入りなど、秋の伊豆沼を堪能していただきました。

第27回伊豆沼・内沼の自然のフォトコンテスト募集のお知らせ

伊豆沼・内沼の自然とそれにふれあう人々を題材としたフォトコンテストを開催いたします。主題は「伊豆沼・内沼の自然」「伊豆沼・内沼にかかわる人々」のいずれかをとらえた作品となります。

応募作品は、平成29年1月1日以降に伊豆沼・内沼（堤防から目視できる範囲）で撮影された未発表の作品で、1人1点とします。

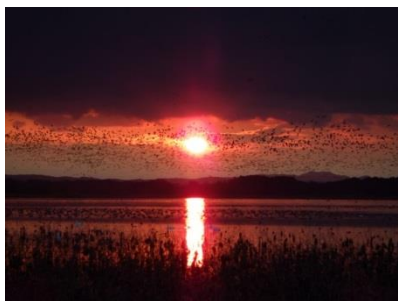
応募期間は平成29年12月1日～平成29年12月29日（郵送の場合は29日消印有効）、応募先・問い合わせ先は、裏面に記載されている事務局となります。多くの作品のご応募をお待ちしております。



第26回最優秀作品「暁に翔る」

ガンの飛立ち観察会 & ラムサール湿地見学ツアーが開催されました。

11月5日に、伊豆沼、蕪栗沼、化女沼のラムサール条約登録湿地を一気に巡る「ラムサールツアー」を開催しました。早朝は天候に恵まれ、日の出を背景に飛び立つマガンは圧巻の光景。参加者の皆様も感嘆の声を上げていました。しかし、蕪栗沼に着いた頃から天候が悪化してしまい、沼の奥には入れませんでした。それでも周囲の水田ではチュウヒやノスリが舞い、上空を飛ぶオオハクチョウに圧倒されました。一口にラムサール条約登録湿地と言っても特徴は異なっており、伊豆沼は湖沼、蕪栗沼は浅い湿地、化女沼は谷戸のダム湖です。個性豊かな湿地を半日で3ヶ所も回れるのもこの地域ならではのことで、ここが日本一の野鳥の楽園と言われる所以を、参加者の皆様にも体感して頂けたのなら本望です。



朝日を背に飛び立つマガンを観察する参加者の皆さん、感嘆の声が上がりました。研究員の説明に真剣に耳を傾けました。

平筒沼において出張講座(生き物観察と)を行いました。

当財団では、湿地の生き物を解説する「出前講座」を行っています。11月16日に、登米市平筒沼水・いきもの保全隊主催の生き物観察会に、講師として出張しました。当日は近隣の小学1・3生が約60人が参加し、1年生は平筒沼周辺の林を、3年生は平筒沼を散策しながら生き物について学びました。

平筒沼の岸ではたくさんのはすの花托やヒシの実、マツモの殖芽が多く見付き、子どもたちに人気でした。しかし、かつて沼を覆っていたマコモは激減する一方、はすや外国原産のスイレン、ブラックバスが繁殖しており、在来の生物にどのような影響を与えるのかを現地の方々には心配されていました。現在、平筒沼水・いきもの保全隊の方々、これらの外来種の対策を行っています。美しい平筒沼が、いつまでも子どもたちの遊び場であることを願ってやみません。



平筒沼の生き物について学ぶ子どもたち

伊豆沼・内沼生き物図鑑 ~タゲリ *Vanellus vanellus*~

田んぼにいるケリなのでタゲリです。ケリというのは大型のチドリの仲間、日本にはケリとこのタゲリの2種類が見られます。タゲリは、日本では越冬のために北から渡ってくる冬鳥です。ハトくらいのおおきさで、背中は光沢のある暗い緑色、お腹が白色のツートンカラー。トレードマークは寝癖のように後方へ伸びたかざり羽です。まるで猫のように「ミュー」とか「ミー」と鳴きます。



<事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

※ 本年の開館は12月28日で終了し、新年は1月1日から開館します。ご来館お待ちしております。

ホームページ:<http://izunuma.org/>

E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp